

利用者さんの「ありがとう」の一言が とても励みになります。



高野 千鶴さん  
 【吉田・20歳】

このコーナーでは、市内で働く元気でフレッシュな皆さんを紹介していきます。今回は、県外の専門学校を卒業後、4月から宅老所で働く高野千鶴さんにお話を伺いました。

◆ どのような仕事をされていますか？

利用者さんの食事やお風呂の介助などをしていきます。お茶を飲みながらお話ししたり、歌を歌ったりして一日楽しく過ごしています。

◆ 利用者さんとの会話の中で、今では考えられない昔の話が聞けることができて、とても勉強になります。

◆ また、日常のたわいのないことでもお互いに笑い合えてありがたうと言え合えると、とても気持ち温かくなり、この仕事をしていて良かったと思います。

◆ 今の仕事を選んだ理由は？

もともと人の役に立つ仕事が出来たいと思っていて、高校で福祉コースを選択し、ヘルパーの資格を取りました。もともと勉強したいと県外の専門学校に進学しましたが、家族のそばに居たかったので、地元に戻り就職しました。

◆ 休日はどのように過ごしていますか。趣味はありますか。

友人と買い物に出掛けたり、カラオケをして遊んでいます。

◆ 中野市にはどのようなイメージを持っていますか。

自然に囲まれていて、空気がおいしく、とても住みやすい所だと思います。

◆ 今後の抱負をお願いします。

もっと利用者さんのことを理解できるようになって、宅老所での一日を楽しく過ごしてもらえ環境を作っていけたらと思います。



広報クイズ

■ 今月のプレゼント

巨峰と千し巨峰のセット  
 ……2名

問題

今年、7月23日(土)に「第38回中野まつり」を開催します。



クイズの答えと、住所、氏名、年齢、電話番号、世帯主名を記入のうえ、日ごろ感じていることを書き添えて、次の宛先まで送付してください。締め切り 7月25日(月)必着 ※当選はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

383-8614 (住所記載不要)  
 中野市役所 庶務課秘書広報係 行  
 住所・氏名・年齢・電話番号・世帯主

未来への挑戦

木目を生かした造形美

○きっかけ・取り組み  
 昭和53年ごろから精神統一を図るため、木工細工を始めました。木工細工では、ろくろを使い気持ちを集中することで、仕事と私生活の切り替えを行っています。また、血圧が高い人は桑の茶わんでお茶を飲むといいと聞いて、桑の茶わんを作るため木工細工に取り組みようになりました。制作は雨の日か、冬の間にいい、時には時間が過ぎるのを忘れるほど集中して行います。



第7回

材料は廃材となった、ケヤキ・アララギ・桑の木などを使い、茶わん、菓子鉢、お盆、筆立てなど作ります。作品は形にこだわらず自由に形を決め、色付けなどの加工を施さずに、自然な木目を生かすようにしています。

材料の加工に使う、ろくろは自ら考案し造ったもので、道具もすべて手づくりのものを使っています。一番のポイントが木を削るときで、木目の動きに合わせて作業をするので、とても気を使います。

◆ 今、自宅を新築中なので新築記念品を作ろうと思っています。

○目標  
 将来は、作品数がある程度になったら、個展を開きたいと思っています。



渋川 善宣さん (壁田)

人に喜んでもらえる仕事がしたい



平野小学校 5年 田中 梨々花さん

私はまだ、しょう来のおゆめは決まっています。友達みんな、ゆめを持っていて、私には大人になった時、楽しくニコニコしたいです。

◆ そのためには、自分のしたい仕事をみつけたいです。どんなやりたい事や仕事があるかわからないので、

市民リレーインタビュー  
 No.46  
 走者 キャッチボール

竹内 碧さんから紹介された



関 洋一さん  
 (食料品製造業・中央四丁目)

①自己紹介

味噌の醸造場を営んでいます。子どもが2人いますが県外に出ているので、今は少し寂しいです。

②今後チャレンジしたいこと

今までほとんど休みなく働いてきたので、余裕ができたなら妻と新婚旅行以来の海外旅行へ出掛けられたらと思っています。

③これからのまちづくりに望むこと

中野市は農業が中心。農家の方が一生懸命作ったものを、工業が商品にして商業が売ります。農・商・工が一体となり、みんなで盛り上げて行けたらと思います。

No.75